

会議録

令和5年9月20日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和5年度第3回定例会
開催日時	令和5年7月19日(水) 18時30分から20時10分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、小須田厚子(副会長)、高橋浩一、辻康一、荒井茂、小池教之、下坂小百合、石川健、青木美紀子、ギログリー江美、城石雅行、松本静、荒井容子、高井正 職員：福所館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、國府方館長補佐(芝久保分館長)、一之瀬分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	
議題	1 審議事項 (1) 令和5年度第1回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和5年度第2回定例会会議録(案)について (3) 令和4年度公民館事業評価について 2 主催事業について (1) 令和5年度公民館主催事業計画について(資料2) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 西東京市教育計画策定懇談会会議報告 (4) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和5年度第4回定例会の開催について (2) 令和5年度第1回利用者懇談会の日程について (3) 公運審紹介紙について (4) その他
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和5年度第1回定例会会議録(案) 資料2 令和5年度公民館主催事業計画書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(2名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和5年度第1回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和5年度第1回定例会会議録(案)について承認</p> <p>(2) 令和5年度第2回定例会会議録(案)について ●令和5年度第2回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し、1週間以内をめぐり修正意見を公民館に送ることとする。</p> <p>(3) 令和4年度公民館事業評価について ○公民館長 西東京市公民館は平成27年度から事業評価を行っており、評価対象としたのは平成26年度公民館事業からである。評価は、公民館が行う一次評価と、公民館運営審議会が行う二次評価の二段階で行われ、結果は教育委員会に報告し、市ホームページ上で公開している。評価項目は、学</p>

級・講座、施設管理、窓口業務、広報、長期的視点での人づくりの5項目で、令和3年度公民館事業からは、令和3年度から令和5年度までの事業計画の基本方針への取り組みについても評価している。令和4年度公民館事業評価の一次評価案については、配布した評価表案をご覧ください。ここでは、B評価としたものについて説明させていただく。全部で3つあり、1点目は評価項目「窓口業務」の評価内容「窓口対応における学習支援」についてで、公民館で活動する団体への支援の充実が課題であることからB評価とした。2点目は評価項目「広報」の評価内容「幅広い広報」で、令和3年度公民館事業評価の際に課題とした「市内の広報手段の十分な活用」への取り組みが不十分なため、B評価とした。3点目は評価項目「長期的視点での人づくり」の評価内容「地域の中での事業実施」で、公民館が設置されていない西武池袋線以北の施設を利用しての事業実施が課題であるため、B評価とした。

- 公民館運営審議会の二次評価の方法をどのように行うかについて検討した結果、第11期と同様、定例会以外に検討する会を複数回、開催し、全員で検討することとなった。

2 主催事業について

(1) 令和5年度公民館主催事業計画について（資料2）

○A委員

女性のための講座「絵本とわらべ歌で楽しい子育て」（田無）、子育て中の人のための講座「ゆったり軽やかに！子育てを楽しもう」（谷戸）、子育て中の女性のための講座「“未来のタネ”がきっと見つかる～夢がかなう子育てのヒント～」（ひばりが丘）の3つの保育付き講座の計画書が提出されているが、どれも意欲的な内容の連続講座で、価値のとらえなおしや学びあいを課題としている。そのためには、丁寧に講座を進める必要があると思う。自身の子育ての思い込みを問うたり、価値をとらえなおしたりするには時間がかかる。講座ですぐ答えが出るわけではなく、仲間づくりが課題となる。仲間の中で主体的に学んでいくために、丁寧な関係づくりをしていただきたい。それぞれ、ユニークな取り組みもあり、子育て中の人のための講座（谷戸）は、「家族みんなで楽しむ食育」をテーマに公開講座を行うが、孤食が問題になっていたり、離乳食をつくるのが母親の負担になっていたりすることを考えると、食育をテーマに家族をとりあげる視点はとてもよいと思う。子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）は、家族交流会、父親交流会を予定していて、父親交流会では男性の公民館専門員がファシリテーターを務めることになっているが、どのようにかかわるのか、伺いたい。

○事業係長

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）について、交流会を行う回の前半は家族交流会で、家族全員で交流する。後半に父親のみの交流会を行うが、担当者は、同性だけの方が話しやすいだろうと考え、現在、子育て中の父親である保谷駅前公民館の公民館専門員にファシリテーターを依頼した。

○A委員

3講座とも意欲的であり、それゆえ、前のめりな印象を受ける。受講者を誰一人取り残すことがないように、「一緒に」を忘れず、丁寧に講座を進めていただきたい。報告を期待したい。

○B委員

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）は女性対象、子育て中の人のための講座（谷戸）は男女対象、後者は平日に行うので結果として女性対象となるかもしれないが、対象が異なる。意識して対象を変えたということだと思うが、内容に差異があるのか、結果としてどうなるのか、関心を持っている。

地域づくり未来大学「私たちがつくる“まちの顔”～柳沢駅南口ロータリーの活用を考える～」について、5年間、継続して取り組んできた講座で、今年度は最終年にあたる。今回は、企画書を作成するだけでなく、具体的に西武柳沢駅南口ロータリーの活用というテーマを取り上げており、ふみこんだ内容で、行動や展開につなげている。しかし、講座回数は6回と例年より短い。講座終了後に実現に向けて取り組むのか。5年間の継続事業の最終年として、出口をどのように考えているのか、終わり方、次の展開について、伺いたい。

○事業係長

昨年度までは、前半、地域課題、社会問題について広く学び、後半、参加者で話し合い、自

分が取り組みたいテーマについて企画書を作成するという流れだった。今回は、最終年度であるので、講座終了後に継続して具体的に組みんでいくために、具体的に地域課題を提示し、具体的に話し合うという方向で企画した。具体的な地域課題を提示したので、講座回数が少なくなった。限定した内容なので、受講者が集まるのか、どのような人が参加するのか、全く読めず、どのように展開していくか見通しが経たない。この地域を熟知し、関心がある人が集まったがゆえに、時間が不足し、まとまらないこともあり得る。そうなった場合は、次年度に継続することもある。ロータリーの活用方法をまとめ、行政に対して市民の案として提案することができればと考えているが、講座がスタートしたら、受講者の状況に合わせて、柔軟に対応し、出口を探りたいと考えている。

○B委員

企画書の作成までは行っても、講座が具体的なことにつながることは、なかなかない。西武柳沢駅南口ロータリーの活用が市の課題であれば、提案の仕方によっては実現の可能性もある。そうでなかったとしても、何かできることがあると思う。5年継続してきた事業の最終年なので、企画するだけで終わるのではなく、実現の方向を探ってほしい。受講者の夢が具体化するのを見てみたいと思う。

○A委員

私自身、以前から、西武柳沢駅南口ロータリーの現状を寂しく思っていたので、その活用を取り上げるのはとてもよいと思う。

○C委員

現代社会を考える講座特別企画「一人芝居『最期の手紙』」について、内容は魅力的な企画だと思う。特別企画であり、演じる方は、世話人として現代社会を考える講座の運営にかかわってきた方なので関係はあると思うが、つなげた意図はあるのか。

○事業係主査

今年度の市長の施政方針の中で平和事業の取り組みが挙げられたことを受け、柳沢公民館の事業計画の中で、現代社会を考える講座の中で平和を取り上げることとされた。しかし、現代社会を考える講座は日本の現代史をテーマに継続的に学びを積み重ねており、本編の内容を変更することは難しい。そもそも現代史を学ぶことは、平和について考えることでもあるが。現代社会を考える講座の運営にかかわってきた方たちと一緒につくることによって、上演後の懇談の時間を、個々が感じたことを伝え合い、現在の状況とつなげて考える機会にできないかと考え、特別企画として企画した。

○C委員

演じる方は現代社会を考える講座の運営にかかわってきただけでなく、タクトホームこもれびGRAFAREホールでワークショップをされた経験もある。広がりを持った歴史学習と表現をつなげる機会になるとよいと思う。

地域づくり未来大学（柳沢）について、地域で様々な活動、事業をしている方たちが講師を務めるが、講師同士のつながりもできているのか。

○事業係長

今回の講座は、地域でコミュニティをつくること等に取り組む非営利の法人にファシリテーターを依頼し、講座の企画に協力していただいております、企画の段階で、ファシリテーターを核に講師陣のつながりができている。

○C委員

市民が地域に関心を持つというほんわかしたものではなく、実際にNPOを立ち上げるようなことも意図していると感じた。西東京市は起業支援を行っているのか。それとオーバーラップしているのか。

○事業係長

市は起業支援を行っている。子育て中の女性を対象とした「ハンサムママ事業」を行っている。

○C委員

公民館は地域づくり、まちづくりをテーマとしており、市の起業支援とは異なるという印象を持っているが、今後は、起業支援の方向にいくということなのか。

○事業係長

本事業の目的は、学びを通じた地域づくり 地域の主体づくり、地域活動の担い手の支援であり、起業支援ではない。今後、「地域づくり未来大学」という事業名は変更するかもしれないが、このスタンスの講座は来年度以降も継続したいと考えている。

○D委員

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）について、第6回の交流会のテーマは「絵本とロックで仲間とつながる」だが、どのような内容なのか興味がある。報告を楽しみにしている。

多文化カフェ「ウクライナ避難民の方々と交流」について、ウクライナ侵攻が始まった時、公運審定例会で現在起きていることを取り上げた事業を求める意見があったが、それに応える事業だと思う。参加したいと思う市民は多いと思うが、平日、金曜日の午後の開催なので、参加できる方は限られる。いつ開催するのが適切か、開催日時については、検討していただきかった。

○事業係長

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）について、講師は「人とつながる前に自分とつながる、それがロックだ」と考えており、仲間とつながる前に、絵本とロックを通して自分を解放して自分を知ろうという趣旨だと聞いている。

○E委員

創作講座「聞いて楽しい飛び出すカードをつくろう」（芝久保）、多世代交流講座「西原自然公園をみんなで観察～雑木林の再生と五感でアート～」(芝久保)について、どちらも工作を行う講座で秋にふさわしいと思う。講座募集の際に完成した作品の展示等を行っているのか。完成形を見ることによって参加したいと思う方もいると思う。

女性のための講座（田無）について、講座内容に関心のある方も対象としており、絵本とわらべ歌という子育て中の人と結びつきやすいイメージの内容だが、子どもとかかわりのない方の参加もあるとよいと思う。ただ、立場が違くと溝がでやすいので、立場を超えて楽しめる講座になるとよいと思う。

○分館長（芝久保）

創作講座（芝久保）について、飛び出すカードはイメージしやすいので、募集時に完成形を提示することを考えていない。

○F委員

多世代交流講座（芝久保）について、西原自然公園を取り上げたことに期待している。雑木林は自然に任せていたら維持できない。この講座で、かつて人の手で雑木林を維持していくことが自分たちの生活を守ることだったということ学ぶことができるのではないかと。多くの方が受講して、雑木林の萌芽更新等について学び、自然に目を向け自分の暮らしに活かしていただきたいと思う。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

教育委員会において行っている事務事業評価について報告する。学校教育分野、教育行政分野、社会教育分野の3分野の学識経験者3人から質問、意見、評価を受ける会が7月10日に行われた。評価対象事業は4事業ある。「地域の関係機関・団体との連携・協議」では、子どもの課題を考える講座（ひばりが丘）で不登校の子どもを進路を取り上げたことが評価された。オンライン参加も可能だったことを報告したところ、高い評価を受け、今後も継続してほしいという意見があった。「高齢者の生きがいや交流につながる学習機会」では、ウクライナのエッグアートや刺繍を取り上げた趣味講座（田無）から自主サークルが発足し、多世代で交流しながら活動していることを報告したところ、高く評価された。「長寿化を踏まえた学習機会の提供」では、あらゆる世代を対象に事業を実施していることを報告。特にライフデザイン講座（柳沢）について、木曜日の夜間にオンライン参加も可能なハイブリッド型で開催したところ、公民館利用の少ない40代から50代が多く参加したことを報告した。参加しやすい工夫をし

た点が高く評価された。また、今年度から土曜日に保育を行うことを可能にした点も評価された。「多世代で学ぶ学習機会の提供」では、公民館まつり等の地域交流事業では、多世代がワークショップを通して交流していることを報告したところ、高く評価された。次回の会議は7月24日で、最終的な評価が決定され、市ホームページで公開される。

(2) 公民館だより編集室報告

- 担当委員より、7月10日開催の編集室会議について、10月1日号の一面特集で取り上げる公民館主催の保育付き講座から発足した2つの自主サークルの取材報告とまとめの検討等が行われたことを報告。

(3) 教育計画策定懇談会報告

- 担当委員より6月23日開催の第7回教育計画策定懇談会について報告。

(4) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

- 担当委員より6月29日開催の第2回委員部会運営委員会について、10月14日に委員部会第1回研修会を予定していること等を報告。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和5年度第4回定例会の開催について

日時：令和5年8月16日（水）午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室

(2) 令和5年度第1回利用者懇談会の日程について

(3) 公運審紹介紙について

- D委員より、発行の趣旨と昨年度、初めて発行したことを説明。第12期も発行し、利用者懇談会で配布することになる。

(4) その他